

道徳通信

野々市市立野々市中学校 令和2年 7月17日(金) NO. 2



学校が再開し、2ヶ月が過ぎようとしています。先日は、前期の中間テストがありました。どうだったでしょうか。早いもので今学期も残すところ2週間です。慌ただしく過ぎていく毎日ですが、目標や楽しみを見つけ、1日1日を大切に過ごしてほしいです。



1年生の授業より「選手に選ばれて」

【話のあらすじ】

Aさんは足が速く、小学校時代からリレー選手として良い成績を残していた。中学校では陸上競技部で頑張っていたが、成績が悪くなりお母さんに叱られ、部活をやめて勉強に専念することにした。そんな時、クラスで体育祭のリレー選手決めの選挙が行われた。Aさんの小学校時代の活躍を知っているクラスのみんなはAさんの名前を書き、Aさんが代表選手となってしまった。

部活をやめてまで勉強に専念しようとしているのに、Aさんはリレーのための練習をしなければいけない。クラスのみんなはAさんがリレーに出るのは「義務」だと言うが、本当にAさんはリレーに出るべきなのだろうか？

「選ばれた以上、クラスの代表として出場する義務がある。」というみんなの意見をどう思う？

- ・私は反対です。確かに義務かもしれませんが、人にはひとりひとりに権利があるのだから、無理に従わせるのはおかしいと思います。
- ・本当に大切な理由があるならやらなくていいと思うけど、その選ばれた一人がやめたら他の人がやらないといけないので、責任感(?)は持った方がいいと思います。
- ・クラスのみんなが義務だと思っていることが、Aさんの権利を奪っていると思います。
- ・私はそもそもこの決め方に反対で、個人の意見も聞かず選挙することにも腹が立ったし、自分達が勝ちたいだけでこんなことを言っているように思えるので嫌だと思いました。
- ・Aさんの将来を、クラスのみんなは保障できないのだから、無理にさせるのはおかしい。
- ・他に出たい人がいるかもしれないから、出たい人が出ればいい。

「あなたがAさんだったら、どうしますか？」と聞いてみると…

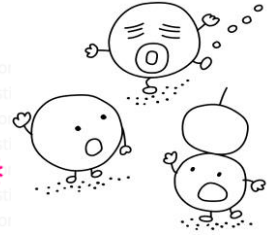
- ・出ない。みんなに頼られてすごくうれしいけど、自分のことがしっかりと片付いてないから。
- ・クラスのみんなに「勝手に決めないでください」と言って、自分の好きなようにする。
- ・できるだけ選手にならない。お母さんに怒られないなら、出るかもしれない・・・。
- ・選挙の時にちゃんと自分が出たくない理由を話して、それをふまえて投票してもらう。
- ・私はAさんと同じように選挙の前に反論する勇氣はないので、自分に票が集まってしまった時に全力で反論する。



この授業の後、実際に各クラスで運動会の選手決めを行いました。ひとりひとりの権利と、クラスや学校のために頑張る義務が守られるといいですね。

2年生の授業より

「あいさつ」



【あらすじ】

本教材は、ある中学校の先生が自分の学級での様々な経験からまとめたものである。主人公のタマゴマンは、学級会で友達の考えを聞き、あいさつについて多様な考えがあると知る。また、仲の良い3人での帰り道における話や、近所のおばさんにあいさつを返した3人の心情に共感することで、あいさつの意義や必要性について考え、理解を深めることができる。

～授業の振り返り～

あいさつは、自分と相手をつなげる一本の線。あいさつをし続けていったら、どんどん線が太くなっていく。あいさつをしないとブツンって切れる。仲の悪い人でも、あいさつをすれば線は残るし、嫌だからってあいさつをしなければ線は切れてしまう。

あいさつはとても大事なことで、人とつながる第一歩だと思った。

これからは自分からあいさつできるようになりたい。

「渡良瀬川の鉱毒」

【あらすじ】

足尾銅山の鉱毒問題に立ち向かった田中正造の実話。正義を重んじ、被害地の農民と連携して、差別や偏見のないよりよい社会の実現に力を尽くした田中正造の生き方から、正しいと信じることを積極的に行動で示すことの大切さを考えることができる。



～授業の振り返り～

人のために動ける人はなかなかいない。自分なら動けない。だから、田中正造がしたことは立派なことだと思った。

小さなことでもいいから、自分以外の人のために動けるようになりたい。

自分の身の周りにも人のために動いている人がいる。この話を学習して、そう感じた。

正義の実現を目指す社会の在り方とは…

先人の行動から学ぶべき精神がきっとあるはずです。